

## 会議録（要点筆記）

会議名	平成28年度 第9回千郷地域協議会（公開）
開催日時	平成28年11月14日（月） 午後7時00分～午後9時15分
開催場所	西部公民館 多目的ホール
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 意見交換  (1) 地域計画の策定検討の経緯について  (2) 地域計画策定に向けた留意事項について</p> <p>3 議事  (1) 地域計画策定に向けた準備体制【資料3】</p> <p>4 連絡事項  (1) 今後の地域協議会の開催について</p> <p>5 閉会</p>
委員出席者	瀧川 健一・今泉 亮司・石河 悟 ・老平 良久・馬淵 紳行 安形 典久・鶴見 龍男・村田 博徳・竹下 隆康・加藤 重行 高野 文夫・服部 峯夫・中村 高三・白井 幸隆・柿下 和久 西野 雄次・近藤 武 ・古地 英明・杉下 尚由・老平 千昌 鈴木 誠 ・河邊 続子・山本 紀子・仲井敬太郎・浅倉 芳包 長坂 好幸・藤田 一美
欠席者	2人 中野 享依・古瀬 剛
事務局	西村自治振興課長・田村千郷自治振興事務所長 戸田主任・森田主事
傍聴者数	1人
会議資料	資料1 千郷地域協議会 次年度への引継ぎ事項 まとめ 資料2 地域計画の取組み状況まとめ 資料3 千郷地域協議会分科会設置規定（案） 資料4 地域計画策定準備会構成メンバー（案） H28年度 千郷地域協議会委員名簿（グループ分け）

## 1 開会

会議成立の報告

27名の委員出席により会議成立

会議録署名者選任

古地 英明委員、老平 千昌委員

## 2 意見交換

### (1) 地域計画の策定検討の経緯について

「資料1」千郷地域協議会 次年度への引継ぎ事項まとめ」を基に浅倉委員から説明を行った。

「資料2」地域計画の取組み状況まとめ」を基に会長から他地区の状況を報告した。また、八名地域協議会加藤久美子さんより八名地区の取組み状況について報告を受ける。

－主な意見－

(委員)

地域自治区予算においては、防災に関する区備品など分捕り合戦になっている。また、防災に関する備品は地区では不均衡になっている。地域自治区予算や活動交付金の使途について根拠を考えていく必要がある。住みよい地域を作っていくために地域全体で考えながら取り組む必要がある。

(委員)

現状マップを作成する際の対象者と回収方法をどのように行ったか。

(加藤さん)

地域自治区予算を考える際にアンケートを小学生と中学生の全員に配布し、学校で回収した。また、この意見を現状マップに反映しています。

現状マップを作成する際は、各戸配布を実施しました。未記入や未回収などもありました。

(浅倉委員)

防災のことを千郷全体で計画立てていく必要があると前年度で認識されても、千郷全体の計画がないので毎年委員が変わってしまうと、前年度に引き継いだことがうまく引き継がれていかない。そういったことから計画策定を急いでいく必要がある。

(2) 地域計画策定に向けた留意事項について

他地区の計画策定状況や事前に配布した他市の地域計画を参考に計画策定を進める際に、どのような点に気をつけながら進めていく方が良いか各グループ（H28年度 千郷地域協議会委員名簿 参照）で意見交換を行った。

－発表内容－

① グループ

- ・ 現状把握を行う。
- ・ 千郷の特性や地域に密着した計画
- ・ 住民参加と住民の合意形成
- ・ 小中学生の意見の反映
- ・ 地域内の活動団体との連携

② グループ

- ・ 住民アンケートの実施（PR・周知）
- ・ 地域課題を洗い出す。
- ・ 自治区予算の検証
- ・ 声の小さい人の意見

③ グループ

- ・ アンケートの実施（目的確認する）
- ・ 特定要因図を作成（魚の骨）：問題の本質を探る。

④ グループ

- ・ 解決に向けた優先順位を探る。
- ・ まちあるきを実施して、総点検する。
- ・ 防災などテーマ毎の全体計画を作成。
- ・ 子どもやお年寄りの意見を反映
- ・ 現状マップづくり
- ・ 歴史資源の発掘

⑤ グループ

- ・ 数値的な現状分析
- ・ 目標設定や優先順位の決定
- ・ 継続性のある策定体制
- ・ 専門的なサポート

（事務局）

現状分析に力を入れることが大事であるという意見が多く聞かれた。幅広い世代の意見に耳を傾けることが大事で、手法としてはアンケートなどがある。どうやってまとめ上げるかとして、いろんな手法があり、うまく使って効率よく進めていく必要があります。

地域計画のメリットとして何があるか。防災で例えさせていただくと現状を知ることが重要になってきます。千郷地区は広いですし、山間部と都市部では災害に備えるものが違ってきます。避難所においても小学校を拠点とした場合、避難所までの距離が違います。こういったことを全体で共有することが大事になります。自分の住む地域はわかるけれども、他の地区はわからないとたくさんのご意見をいただいた。全部の区に共通して必要なものと判断した備品などを計画し、自治区予算や活動交付金に活用していくことができます。

### 3 議事

#### (1) 地域計画策定に向けた準備体制

**資料 3** 千郷地域協議会分科会設置規定（案）を基に協議を行った。

分科会名：地域計画策定部会

設置理由：当初予定していた開催回数では協議時間が足りないため。

検討内容：次年度の地域計画策定事業に対する取り組み方  
（策定体制やスケジュールや取組み方法）

任 期：来年3月まで

※分科会でたたき台を作成し、全体の協議会に諮っていく。

#### 《採決事項》

賛成19名により、分科会を設置する。

#### ■分科会構成員について

地域協議会長から**資料 4** 地域計画策定準備会構成メンバー（案）の提示を行った。

選考項目

- ・前年度の協議に加わっていた方
- ・次年度以降も継続して委員を務める方
- ・行政区以外の役職で委員となっている方

ポイント：次年度への引継ぎができ、幅広い意見も反映されること。

#### 《採決事項》

賛成多数により地域計画策定部会の構成員について承認する。

#### 4 連絡事項

○地域計画策定部会について

日時：11月25日（火）午後7：00から

※事務局から開催通知を送付します。

○今後の地域協議会の開催について

日時：12月19日（月）午後7：00から

場所：西部公民館 多目的ホール

内容：次年度に向けた地域計画策定に関する協議

【閉会】